

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 15

新年度に向けて

連盟理事長 川路 昌治



昨年11月から始まったNHK朝の連続テレビ小説「まんてん」は屋久島生まれの日高満天が、宇宙からの気象予報を念頭に宇宙飛行士を目指すといった壮大な夢が、テーマとなっています。奇しくもその満天

が屋久島から大阪にでてきて身を寄せた下宿先が合気道の道場でした。さまざまな悩みにぶつかった時、満天を優しく包み適切な励ましとアドバイスを与えるのは道場長です。

合気道を通し、健全な心と身体の調和をはかり、人格の完成を目指す我々にとってテレビドラマとはいえ、満天のさらなる成長を願わざるをえません。また、宇宙との一体感という深遠なる境地に達した開祖の顔が浮かんできます。

ところで、米スペースシャトル・コロンビアの事故は満天の宇宙への夢を、うち砕くかのような惨事であった。音速の18倍もの超高速で白煙を上げて青空を突っ切るその機体をくり返し見るにつけ、「科学万能」神話と訣別すべき時は今かと痛感させられた。だが、人類の夢を背負い勇敢に立ち向かい散った飛行士たちの冥福を祈らざるをえない。宇宙開発の新たな一歩に期待したい。

昨年、全日本演武会は節目の40回。宇宙の小さな星の記念すべき大きなできごと。その一翼を担う当連盟におきましても、7月合同講習会では、県下18団体192名の参加を得て盛大に行われ、また少年錬成会も11団体209名参加で、過去最多の参加者を数えました。これも、各団体の普段の努力・精進の賜と、感謝申し上げます。

こころの時代に応えるべく、心身一如の理念を一層高く掲げ、今年も力強く邁進しましょう。

県連・新年会 : 平成15年1月26日

8団体14名で盛大に!

1月26日(日)午後5時より、和光市「養老の滝」において年始恒例の県連理事会主催新年会が、14名参加のもと盛大に開催された。

最初に、川路理事長より、「みなさんの協力体制ができあがっていますので、安心しております。格段申上げることはいけません」との挨拶のあと、稽古量を増やし一方食事を制限し見事、すっかり痩身となった林副会長が満面に笑みを浮かべ、乾杯の音頭を取り歓談に。

各団体からの報告になって、今年の合同講習会主管道場である合気道自然館から会場の確保などすでに準備が着々と進んでいるようすが、大宮道場からは、世界の武道紹介ということでカナダのテレビ局から取材があったこと、また中学校の体験学習の一貫として指導の要請があり、出かけたことなどの報告に質問も飛び交いました。

志木合気会の少年部と成人部の合同稽古で、子供たちに緊張感を作り出すことができたという実践は、早速取り入れようとする道場もあったようです。

最後に一昨年オーストラリア合宿で大いに関心を集めたA&P石垣道場からは、昨年9月に行われた30周年記念演武会の報告がなされました。県連からも多くの団体が参加し、盛会な演武会であったこと。今はアルバムづくりなどまとめを行っているとのこと。その後、延々と交流は続き9時過ぎに解散したはずですが、未確認。

当面の県連予定

- ◎常任理事会 3月9日(日) 和光市「養老の滝」
- ◎第18回県連少年錬成会 (理事会同時開催)
場所: 入間市武道館
日時: 平成15年4月20日(日) 午後2時
- ◎第21回合同講習会
場所: 狭山市民総合体育館(柔道場)
日時: 平成15年7月6日(日) 午後2時

各団体・演武会特集 (平成15年)

三十周年記念行事を振り返って

A&P 合気道石垣道場 石垣 春夫

去る9月29日(日)午前十一時より行われました記念行事は大盛況のうちに無事終了いたしました。皆様にご報告申し上げますとともに参加して下さいました方々、及びお祝いをいただいた方々に感謝いたします。子供クラス合同稽古、道主植芝守央先生指導の講習会には約4百名の方々が参加し、用意したマットの場外で稽古される程でした。楽しく、笑顔にあふれた稽古で日本全国の道友との交流が行われました。引続き道場生、招待者、五十嵐師範、小林保雄師範の演武、最後に道主の総合説明演武と、滞りなく万来の拍手の内に幕を閉じました。また、会場準備の合間をぬって道主及び小林先生、五十嵐先生、中島先生などと武蔵国の護り神であります氷川神社へ参拝をいたし、今後の合気道界の発展と石垣道場のますますの充実を祈りました。

さて四時より行われました祝賀会も道場生、埼玉大、信大のOB会員及び現役学生、北海道国際合気道協会、長野県連盟の皆様並びに埼玉県連盟の市塚先生、四国の戸田先生、などなど御名を上げるとページが尽きてしまうほどたくさんの方々にお祝いをさせていただきました。全体の延べ参加者は六百名にも及び大きな交流の輪が広がりました。そこで三十周年記念行事の雰囲気の皆様方にも味わっていただきたく、アルバムを作成しました。ぜひ一緒に楽しんで下さい。



そして、この紙面をお借りして合気道を始めた時より御指導をいただいた小林先生と、私を合気道に導いてくれた今村先生をご紹介します。

小林先生には、私が埼玉大学合気道部入部当時より指導をしていただいております。世界一の道場数、道場生

を有する小林道場道場長であり、最も有名な合気道家であります。松本に最初に道場を開く時にいただいたアドバイスは「誰も来なくても時間になったら道場を開けて時間が終了するまで必ず居る事」。実際、誰も来ない道場へタクシーで行き、2時間一人で黙々と基本動作と木剣の素振り続けた事が3ヶ月間ありました。それがあつたればこそ新しい道場に子供が一人しかいなくても、うれしく思えるのだと思います。

今村さんとの出会いは大学一年の後期です。前記試験を終え勉強がいやになって授業をさぼりフラフラしていた時、顔なじみになり話をする様になった今村さんに、「2年生になったら合気道部を作るから名前だけでもいいから入ってくれ。」と誘われました。この一言が私の運命を大きく変えるとはその時は思ってもみませんでした。いきなり中古の道着を買いに旧本部道場へ行き、初めて稽古しました。大学生協でウクレレを弾きながら、コーヒーを飲む今村さんが合気道の天才であるなどとはつゆ知らず、とても気楽な気持ちでいました。その後の活動は語りつくせぬほどありますが、その一つ一つが私にとって勉強であったと思います。その他にもたくさんの方々の助けを借りてここまで来ることができました。本当にありがとうございます。これからも35周年、40周年と地道に時を重ねて行きたいと思えます。より良い合気道を目指していくつもの私を今後共温かい気持ちで見守り、良きアドバイスをお願いいたします。今後共交流をお願い致します。

この会が皆様方の無限なるエネルギーを引き出す役目になるようにお祈りします。皆様方の御協力に感謝をいたし今後共よろしく御指導、御鞭撻をお願いする次第であります。

略儀ながら文書をもって御礼申し上げます。



合気道和光支部

尾形 元枝
強くやさしく

「強くなってください。そしてやさしくなって下さい。やさしくなければ駄目です」

去る平成14年11月17日(日)に行われた第31回・合気道和光支部演武大会に来賓でお見え下さった衆議院議員上田清先生のご祝辞の一説である。平凡で簡素な言葉ではあるが、妙に心に残った。今回の演武会も前回同様、和光市民文化センター内のサンアゼリアホールというりっぱな舞台を借りて行われた。広報活動の甲斐もあってか300の席はほぼ200席近くが常時埋まっていたようだ。

昨近、世間は合気道ブームらしい。スティーブン・セガールの活躍はもとより、朝の連続ドラマ「まんてん」・映画「AIKI」など、メディアでは合気道の話題に事欠かない。直接的影響はともかく、当和光支部でも少年部や高校生など青少年を中心に部員の増加が目立つ。戦後しばらく封印の憂き目にあった武道、ようやく日本人が日本人としてのアイデンティティーに目覚めてきたのだろうか。武道を志す者としては頼もしいことである。

さて、1年間の稽古の総決算である演武会、日々の稽古の中で自分がやってきた事だけが表れる、取り繕うことができない。先ず支部員を見てみると、少年部は元気よさと受け身が身上なのだが、まずまずといったところか。次に成人部、男性は力強い大技を披露、一方女性は基本に忠実で華麗な合気道をおこなっていた。そして賛助演武の方々、ある支部の方はやさしくまるで氷上のスケーターのような流れる捌きで、また某大学の方々は「これが若さだ」と言わんばかりの元気いっばいの動きで、いずれも個性的な演武でした。

最後に我が和光支部師範川路先生の演武。「川路スペシャル」の異名をとる技も随所に織り込んだ演武。人間を巻き上げる不思議な渦、これぞ合気道。と私は思っているのですが。演武会の度に思うことは、人それぞれの合気道が存在するという、それが許される魅力。ただのぶつかり合いではなく、二つの力が出会い一つになるのが合気道。やさしく且つ強くなければ相手を包むこと

第31周年合気道演武大会



はできない。冒頭の上田議員の言葉は、合気道の核心をついた言葉だったのである。今回も初心に戻るよい機会となった。

志木合気会

本橋 慶子

私達、志木合気会は、志木勤労者体育センターにて毎週土曜日と日曜日の夕方4時30分から6時まで稽古をしております。稽古は一般の部と少年の部に分かれています。初めの「呼吸操練」と「天のとり舟」だけは亀井師範のもと全員で行っています。亀井師範の指導は『相手を感じ、受身を大切にすること』をモットーに基本の技を中心としたものです。

私が入会した当初は人数も少なく、ちょうど志木合気会創設者の樋浦先生がお亡くなりになったばかりで、どちらかといえば暗い感じでした。つつい休みが多くなり、辞めようかとまで考えたこともありました。しかし、いつしか合気道のすばらしさに心惹かれ、今では稽古に行かないと1週間がとて長く感じる程です。

最近の道場は大人、子供とも会員が増え、日曜日の稽古などは広い道場一杯になるほどです。女性会員も増え、昨年入会した女性2人ともすでに5級を取得していますし、中学生・高校生の女の子達もどんどん上手なっています。男性達も熱心な人が多く、稽古前に自主的に練習する人あり、新しい技を教本片手に研究する人ありという状況です。有段者も私を含め昨年は2人増え、昇段した人も2人います。有段者の中には会の稽古以外に本部道場での多田師範の研修会に積極的に参加して、その成果を会の指導に役立ててくれています。

まだまだ立派な道場とはいえない志木合気会ですが、ひとつの目標があります。それは演武会を催したいということです。それは小さな演武会になるとは思いますが、是非とも開催したいと考えています。また、それだけではなく一人一人が心身を鍛え、益々会が発展するよう皆でがんばっていくつもりです。合気道に興味がある方、稽古を覗いてみたい方、どうぞお気軽に志木合気会の道場にお越し下さい。会員一同、心よりお待ちしております。



蓮田合気会便り

奥野木 洋子

平成15年新しい年を迎え新たな決意を胸に抱き老若男女20数名の会員となりました。

蓮田合気会は、明るく楽しく稽古に励んでいます。会の稽古は、水・金曜日は、午後7時半より1時間半、夜間ということもあり仕事の都合や家庭の用事で数人の稽古となることもあります。日曜日は、午前9時半より2時間、数十人の稽古となり活気にあふれいい汗をかくことができます。

指導して下さる萩谷先生は、基本を大切に、入身転換、受身と技のくり返し、無理せず素直に合理的な動きが自然に出来るように丁寧かつ熱心に教えてくださいます。

春には、合気神社大祭に参加又全日本合気道演武大会では、全国各地で稽古に励んでいる多勢の人にびっくりしました。その中の一人として出場している喜びと緊張は、その場に立たないとわからないことだと思います。

夏には、県連盟の講習会にも参加させて頂き、他の道場の方々と稽古は、普段では味わえないことに触れられます。それぞれの場所で、道主の演武を間近で拝見できることは、とても貴重な体験であり感激でいっぱいになり、益々稽古を頑張ろうと決意を新たにします。

蓮田市の体育協会にも加盟し、市の様々な行事に参加、お手伝いもさせて頂いております。地域とのつながりも大切にしております。又合気道教室を市民講座として聞き合気道に少しでも興味を持ってもらい理解・体験してもらい一人でも多くの人々に楽しさを知ってほしいと思います。

合気道を始めたきっかけは、人それぞれ違うと思いますが、2月の昇級昇段審査にむけよりいっそう仲間とともに同じ目標にむかって一生懸命稽古に励みたいと思っています。



合気道と私

和光支部 永井 亜希子

私と合気道との出会いは6年前。運動不足を解消したいと思い何か手軽にできる運動を探していたところ、近くの道場で合気道をやっているという話を聞き、軽い気持ちで入会届けを出しました。合気道とはどういうものか、やっている姿すら見たことなく入会した私にとって、和光支部の稽古風景は地獄絵そのもの。道場に鳴り響く、畳に叩きつけられる(当時はそう見えた)音、激しい息づかい、したたり落ちる汗……。この稽古に自分も参加するのかもしれない、夏にも関わらず背筋が寒くなったのを覚えています。

こんなに怯え、おののいていた私ですが、不思議と半年後には稽古に行くのが楽しくなっていました。第一の理由は体が強くなったこと。初心者私に対しても、けっして手を抜かない和光支部の面々のおかげで毎回、稽古後は腰に手をあてながら帰っていました。おかげで始めたばかりの頃は、稽古のたびに体中が痺だらけ。しかし、驚くことに半年後にはほとんどできなくなっていました。手首をつかまれた際、「強くなったね」と言われたときは、女性であるのに、うれしくなってしまったものです。

第二は、合気道の奥深さを知ったこと。武道にも関わらず勝ち負けのない合気道には、これでいいという天井がありません。そのため、稽古のたびに新しい発見があり、それが次の稽古につながるのです。

第三には、なんととってもゆかいな仲間がいること。非常に個性的で暴れん坊の川路先生を初め、どの人も一筋縄ではいかない人ばかり。しかし、皆陽気で、その陽気さが道場のよい雰囲気を作り出しています。特に、お酒の席での盛り上がりは格別。先生の暴走を見ているだけで楽しめます。

稽古中は厳しく、稽古後は皆で笑い合う。このリラックスした空間が、合気道が私にくれた何よりもありがたいものだと思っています。

合気会 今年の主な行事

- 4/26(土) 開祖御命日偲ぶ会
- 4/29(火) 合気神社大祭(岩間)
- 5/25(土) 第41回全日本演武大会
- 7/20(日) 第25回全日少年合気道錬成会
- 7/28(月)~8/6(水) 暑中稽古(本部道場)
- 12/25(木) 稽古納め